

目標達成計画

事業所名 グループホームあさひ

作成日 : 平成 22年 10月 29日

評価結果

市町村提出日 : 平成 22年 11月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	帰宅願望があるなど離設する可能性のある入居者がいるため、玄関の鍵をほぼ日常的に施錠している。	日常的に玄関の鍵を施錠しているという状態を改善し、閉塞感のないようにする。	散歩に行くなど短時間の外出や、業者が出入りするときに、家族や地域の方の参加する行事の際は必ず玄関を開放することを習慣づけ、玄関の開放時間の延長を試みる。	12 か月
2	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援について。(ホームとしての方針があり、管理者・家族・医師・看護師間での話し合いはもたれているが、他職員にまで、情報が十分に共有されていない。)	全職員が、重度化・終末期に向けた方針を共有できる。	内部研修を充実させていき、全職員が方針の理解と情報の共有を深めることができるようにする。	3 か月
3	35	災害時、地理的に水害にあう危険性があるため、職員だけの誘導に限界がある。	水害時などの緊急時は近隣住民の方の協力を得られるような体制をつくる。	介護相談員として来ていただいている社会福祉協議会の理事長に相談し、運営推進会議に区長にも参加していただいて、緊急時に近隣住民の方の協力を得られるような体制をつくる。	12 か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。